

学習日 月 日

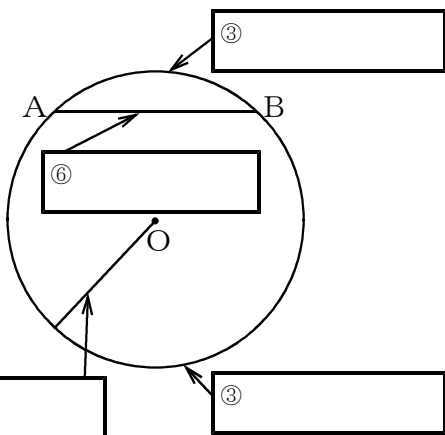
年 組 番 氏名

1 次の空らんにあてはまることばを書きなさい。

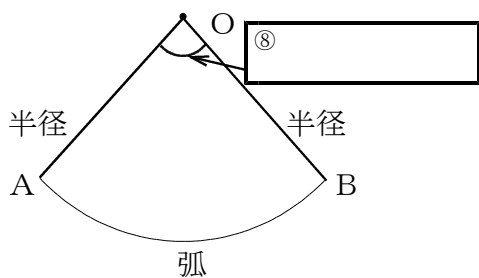
• 中心がOである円を ① といい、円周上の点と中心との距離はどこでも等しく、一定である。この距離が ② である。

• 円周上の2点をA, Bとするとき、AからBまでの円周の部分を ③ といい ④ と表す。

• 円周上の2点を結ぶ線分を ⑤ といい、両端がA, Bである ⑤ を ⑥ という。



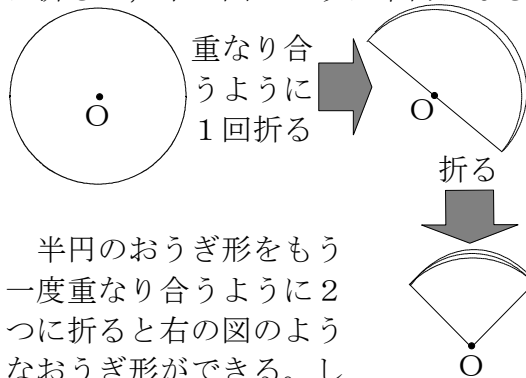
• 弧の両端を通る2つの半径とその弧で囲まれた図形を ⑦ といふ。⑦ で、2つの半径のつくる角を ⑧ という。



2 次の空らんにあてはまることばを書きなさい。

• 円は重なり合うように2つに折ることができる。このときの折り目の線は、① である。円は、どの直径についても ② な図形である。

• 円の形をした紙を重なり合うように2つに折ると、下の図のように半円になる。



• 半円のおうぎ形をもう一度重なり合うように2つに折ると右の図のようなおうぎ形ができる。したがって、おうぎ形は ③ な図形である。

3 コンパスと定規を使って、次の(1)~(4)の図形をかきなさい。ただし、(2)~(4)については、(1)でかいた円Oにかき入れなさい。

- (1) 円O
- (2) \widehat{AB}
- (3) 弦AB
- (4) $\angle AOB$ を中心角とするおうぎ形

1

• 中心がOである円を ① 円O という。円周上の点と中心との距離はどこでも等しく、一定である。この距離が

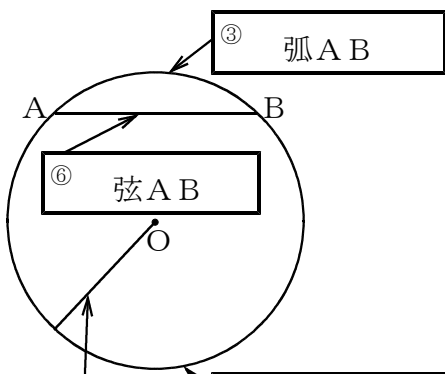
② 円の半径 である。

• 円周上の2点をA, Bとすると、AからBまでの円周の部分を

③ 弧AB といい ④ \widehat{AB} と表す。

• 円周上の2点を結ぶ線分を ⑤ 弦 といい、両端がA, Bである ⑤ を

⑥ 弦AB という。

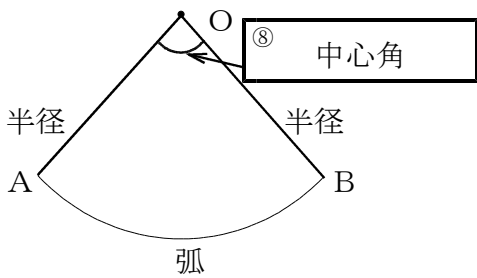


② 円の半径

③ 弧AB

• 弧の両端を通る2つの半径とその弧で囲まれた図形を ⑦ おうぎ形 という。⑦ で、2つの半径のつくる角を

⑧ 中心角 という。



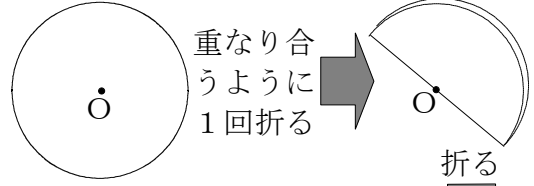
2

• 円は重なり合うように2つに折ることができる。このときの折り目の線は、

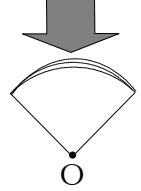
① 円の直径 である。円は、どの

直径についても ② 線対称 な図形である。

• 円の形をした紙を重なり合うように1回折ると、下の図のように半円になる。



折る



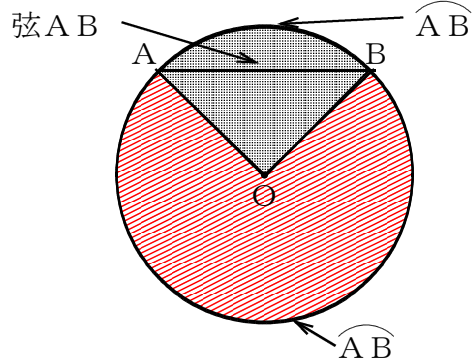
• 半円のおうぎ形をもう一度重なり合うように2つに折ると右の図のようなおうぎ形ができる。したがって、おうぎ形は

③ 線対称 な図形である。

3 コンパスと定規を使って、次の(1)~(4)の図形かきなさい。

- (1) 円O
- (2) \widehat{AB}
- (3) 弦AB
- (4) $\angle AOB$ を中心角とするおうぎ形

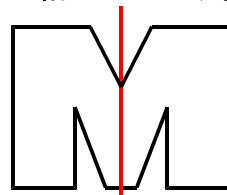
解答例



【注意】おうぎ形は2つできる。

<線対称とは>

1本の直線を折り目にして二つ折りにしたとき、両側の部分がぴったり重なる形を **線対称** な形といいます。また、この直線を **対称の軸** といいます。



対称の軸